



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月28日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎 勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本 節範 (TEL) 06 (6477) 8404
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	71,632	△3.1	3,316	△18.1	3,689	△17.5	2,258	△18.6
22年3月期第1四半期	73,908	2.3	4,048	128.4	4,472	143.7	2,773	190.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	19.89	—
22年3月期第1四半期	24.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	203,975	108,846	52.2	938.60
22年3月期	200,988	108,287	52.8	935.04

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 106,535百万円 22年3月期 106,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	157,000	1.6	7,900	△17.2	8,000	△20.4	4,900	△19.0	43.17
通期	293,000	3.0	12,000	1.7	11,900	△3.9	6,900	△1.9	60.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期 1 Q	144,860,138株	22年3月期	144,860,138株
------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

23年3月期 1 Q	31,354,861株	22年3月期	31,350,577株
------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期 1 Q	113,506,100株	22年3月期 1 Q	113,546,368株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料] 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直し等によって景気は回復傾向にあるものの、海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響といった景気下押しリスクがあり、引き続き厳しい状況にあります。食品業界においては、雇用環境や所得環境が本格的な回復には至らない状況にあって、依然として消費者の節約志向は根強く、販売競争は厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の強化や新製品・系列品の発売を始めとして積極的な販売政策を展開いたしました。その結果、売上高は、冷菓部門は増収となりましたが、菓子部門、食品部門、牛乳・乳製品部門、畜産加工品部門は減収となり、全体では71,632百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。利益面につきましては、原材料価格のダウン等による売上原価率のダウンや広告宣伝費の減少はあったものの、減収による減益及び販売促進費の増加等により、営業利益は3,316百万円（同18.1%減）、経常利益は3,689百万円（同17.5%減）、四半期純利益は2,258百万円（同18.6%減）となりました。

各セグメント別の売上の状況は、以下のとおりであります。

・売上の状況

（単位：百万円、%）

	前第1四半期連結 累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）		当第1四半期連結 累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）		増減額	対前年 同期比	（参考） 前連結会計年度 （平成22年3月期）	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
菓子	19,115	25.9	17,932	25.0	△1,182	93.8	81,371	28.6
冷菓	17,328	23.4	17,654	24.6	326	101.9	58,155	20.4
食品	5,658	7.7	5,621	7.8	△36	99.3	24,077	8.5
牛乳・乳製品	22,436	30.4	21,074	29.4	△1,362	93.9	84,917	29.8
畜産加工品	8,276	11.2	8,154	11.4	△121	98.5	31,506	11.1
その他	1,093	1.4	1,195	1.8	101	109.3	4,508	1.6
合計	73,908	100.0	71,632	100.0	△2,275	96.9	284,536	100.0

<菓子部門>

国内では、新製品“タパスタ”が売上を伸ばし、“クラッツ”も前年同四半期を上回りましたが、“スクイーズ”、“かるじゃが”及び「ポッキーグループ」等は前年同四半期を下回りました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が前年同四半期を下回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,932百万円となり、前年同四半期(19,115百万円)に比べ6.2%の減収となりました。

<冷菓部門>

3月に大幅なリニューアルを実施した“パナッパ”が好調に推移し、“ジャイアントコーン”も順調に売上を伸ばしました。また、卸売販売子会社も増収となりました。一方、“アイスの実”、“パピコ”等は前年同四半期を下回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,654百万円となり、前年同四半期(17,328百万円)に比べ1.9%の増収となりました。

<食品部門>

新製品“ごちうま”が順調に売上を伸ばし、“LEEレトルト”も前年同四半期を上回りましたが、“カレー職人”、“はるさめパスタ”等は前年同四半期を下回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,621百万円となり、前年同四半期(5,658百万円)に比べ0.7%の減収となりました。

<牛乳・乳製品部門>

“朝食りんごヨーグルト”等のヨーグルト類は前年同四半期を上回りましたが、“ドロリッチ”等の洋生菓子及び果汁飲料は前年同四半期を下回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は21,074百万円となり、前年同四半期(22,436百万円)に比べ6.1%の減収となりました。

<畜産加工品部門>

“A-グル”等の食品原料は前年同四半期を上回りましたが、ソーセージ等は前年同四半期を下回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,154百万円となり、前年同四半期(8,276百万円)に比べ1.5%の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、短期資金運用による有価証券の増加、受取手形及び売掛金の増加等により、203,975百万円(前連結会計年度末に対して2,986百万円の増加)となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加等により、95,129百万円(前連結会計年度末に対して2,427百万円の増加)となり、純資産は、利益剰余金の増加等により、108,846百万円(前連結会計年度末に対して558百万円の増加)となり、自己資本比率は52.2%(前連結会計年度末比0.6%減)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いた当第1四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フローは1,218百万円となりました。また、利息及び配当金の支払等により財務活動によるキャッシュ・フローは△1,275百万円となりました。その結果、当第1四半期会計期間の現金及び現金同等物期末残高は26,823百万円となり、前連結会計年度の期末残高(26,789百万円)に比べ33百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績見込につきましては、平成22年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準等の改正に伴う変更

・当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益及び経常利益が0百万円、税金等調整前四半期純利益が173百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,753	16,659
受取手形及び売掛金	31,300	29,421
有価証券	17,108	13,707
商品及び製品	8,669	7,479
仕掛品	922	934
原材料及び貯蔵品	9,585	9,931
その他	4,541	4,686
貸倒引当金	△133	△146
流動資産合計	84,748	82,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,341	20,341
機械装置及び運搬具（純額）	26,174	25,481
土地	11,996	11,600
その他（純額）	7,801	7,965
有形固定資産合計	66,314	65,388
無形固定資産		
ソフトウェア	1,029	1,011
その他	4,337	3,337
無形固定資産合計	5,366	4,349
投資その他の資産		
投資有価証券	36,138	37,671
その他	12,109	11,594
貸倒引当金	△702	△688
投資その他の資産合計	47,545	48,576
固定資産合計	119,226	118,314
資産合計	203,975	200,988
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,800	25,507
短期借入金	10,918	10,908
未払費用	20,501	19,860
未払法人税等	822	3,205
役員賞与引当金	—	109
販売促進引当金	1,224	1,292
その他	5,575	5,580
流動負債合計	68,842	66,464

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	10,005	10,005
退職給付引当金	11,396	11,556
役員退職慰労引当金	7	193
その他	4,877	4,481
固定負債合計	26,286	26,236
負債合計	95,129	92,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,426	7,426
利益剰余金	119,386	118,263
自己株式	△26,689	△26,684
株主資本合計	107,897	106,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	65	950
繰延ヘッジ損益	△457	△493
為替換算調整勘定	△970	△1,100
評価・換算差額等合計	△1,361	△643
少数株主持分	2,310	2,151
純資産合計	108,846	108,287
負債純資産合計	203,975	200,988

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	73,908	71,632
売上原価	41,686	40,097
売上総利益	32,222	31,535
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	6,758	6,563
販売促進費	7,814	8,281
広告宣伝費	3,725	3,188
退職給付引当金繰入額	292	295
その他	9,583	9,890
販売費及び一般管理費合計	28,174	28,219
営業利益	4,048	3,316
営業外収益		
受取利息	109	75
受取配当金	260	314
その他	349	334
営業外収益合計	719	724
営業外費用		
支払利息	61	70
繰延ヘッジ損益取崩額	59	61
その他	174	218
営業外費用合計	295	350
経常利益	4,472	3,689
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	173
投資有価証券評価損	1	44
貸倒引当金繰入額	36	20
特別損失合計	37	237
税金等調整前四半期純利益	4,436	3,452
法人税、住民税及び事業税	899	914
法人税等調整額	673	190
法人税等合計	1,572	1,105
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,347
少数株主利益	90	89
四半期純利益	2,773	2,258

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,436	3,452
減価償却費	2,367	2,428
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△74	△68
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△173	△159
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△171	△186
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△88	△109
貸倒引当金の増減額(△は減少)	95	0
受取利息及び受取配当金	△369	△389
支払利息	61	70
売上債権の増減額(△は増加)	△839	△1,839
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,977	△817
仕入債務の増減額(△は減少)	3,651	4,270
その他	415	476
小計	7,333	7,129
法人税等の支払額	△747	△3,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,586	3,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△104	△206
定期預金の払戻による収入	100	100
有価証券の取得による支出	△399	△200
有価証券の売却及び償還による収入	—	806
投資有価証券の取得による支出	△6	△7
投資有価証券の売却及び償還による収入	899	240
有形固定資産の取得による支出	△3,318	△2,887
有形固定資産の売却による収入	31	3
貸付けによる支出	△86	△37
貸付金の回収による収入	147	39
利息及び配当金の受取額	353	386
その他	△513	△937
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,895	△2,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,928	—
長期借入れによる収入	10,000	—
利息及び配当金の支払額	△1,177	△1,234
少数株主への配当金の支払額	△12	△14
自己株式の取得による支出	△13	△5
その他	△9	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,857	△1,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	91
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,733	33
現金及び現金同等物の期首残高	19,581	26,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,315	26,823

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に事業部門を統括する事業統括本部を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「菓子部門」、「冷菓部門」、「食品部門」、「牛乳・乳製品部門」及び「畜産加工品部門」の5つを報告セグメントとしております。

「菓子部門」は、チョコレート・ガム・ビスケット・スナック等を製造・販売しております。

「冷菓部門」は、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「食品部門」は、ルウカレー・レトルト製品等を製造・販売しております。

「牛乳・乳製品部門」は、乳飲料・洋生菓子等を製造・販売しております。

「畜産加工品部門」は、ハム・ソーセージ類及び澱粉・色素等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,932	17,654	5,621	21,074	8,154	70,437	1,195	71,632	—	71,632
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	44	40	85	1,560	1,646	△1,646	—
計	17,932	17,654	5,621	21,118	8,195	70,523	2,756	73,279	△1,646	71,632
セグメント利益又は 損失(△)	615	1,509	△11	197	223	2,533	△22	2,511	805	3,316

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、新素材部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額805百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額175百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用630百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。